

日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド

追加型投信／内外／株式

償還 交付運用報告書

第10期（償還日2025年5月20日）

作成対象期間（2024年5月21日～2025年5月20日）

第10期末（2025年5月20日）	
償還価額（税込み）	21,240円24銭
純資産総額	1,086百万円
第10期	
騰落率	△7.6%
分配金（税込み）合計	一円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」は、2025年5月20日に償還いたしました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

ここに、信託期間中の運用経過等についてご報告申し上げます。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<654442>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。社名変更後URL：www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2015年6月23日～2025年5月20日)



設 定 日：10,000円
 期 末 (償 還 日)：21,240円24銭 (既払分配金 (税込み)：0円)
 騰 落 率：112.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の大型株式を中心に企業業績が好調に推移したこと。
- ・生成AI（人工知能）の普及に伴ない関連銘柄の業績が伸長し、市場参加者の期待が高まったこと。
- ・主に期間の後半、アメリカドルやユーロに対して円安が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から、経済活動の先行きが懸念されたこと。
- ・ロシアによるウクライナ侵攻や中国・台湾間の緊張の高まりなど、地政学的リスクが高まったこと。
- ・米国政府による貿易相手国への相互関税の発表を受けて、米中貿易摩擦激化への警戒感や、世界経済の悪化懸念が高まったこと。

1万口当たりの費用明細

(2024年5月21日～2025年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 402	% 1.738	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(196)	(0.847)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(191)	(0.825)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(15)	(0.066)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.048	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(11)	(0.046)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	3	0.014	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(3)	(0.014)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	58	0.252	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(35)	(0.152)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(21)	(0.091)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(その他)	(1)	(0.004)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	474	2.052	
期中の平均基準価額は、23,146円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

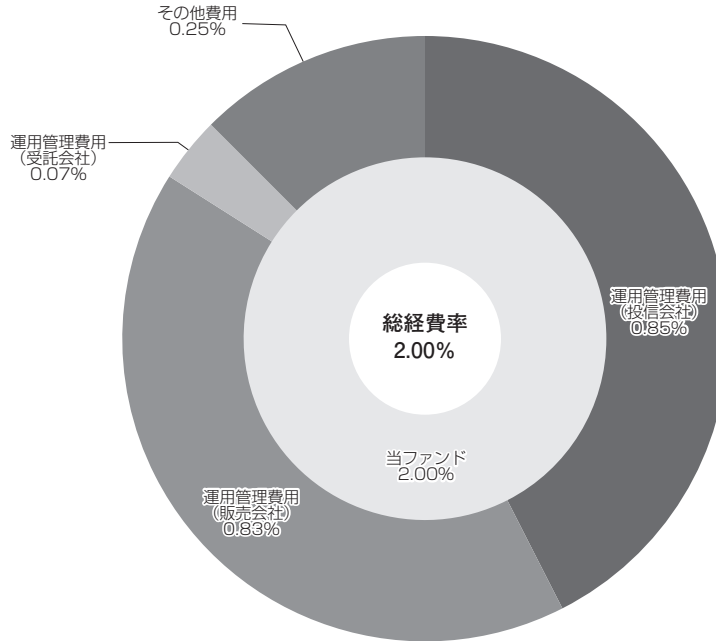
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月20日～2025年5月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年5月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年5月20日 決算日	2021年5月20日 決算日	2022年5月20日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月20日 決算日	2025年5月20日 償還日
基準価額 (円)	9,567	13,511	13,420	15,886	22,977	21,240.24
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	41.2	△0.7	18.4	44.6	△7.6
純資産総額 (百万円)	1,313	1,280	1,041	1,152	1,416	1,086

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2015年6月23日～2025年5月20日)

(株式市況)

期間の初めは世界の株式市場は総じて軟調に推移しました。米国連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めに対する懸念、原油価格の下落、世界的な景気後退懸念の高まりなどから不安定な状況が続きしました。

2016年2月以降は株価が持ち直して推移する中、米国大統領選挙において、トランプ氏の予想外の当選という大きなサプライズがありました。ただトランプ氏の勝利演説が融和的な内容であったことを受けて市場センチメントは好転し、その後も米国新政権による積極的な景気刺激策への期待や好調な米国経済指標などが好感され株価の上昇基調が続きしました。

2020年2月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、多くの国でロックダウン（都市封鎖）の措置がとられ、世界経済に未だかつてないレベルの影響があり、市場にも大きく影響しました。ただその後は、新型コロナウイルスの封じ込め政策の成功と様々な金融・財政政策によって、世界の株式市場は回復がみられました。また新型コロナウイルスのワクチン接種によるロックダウンの緩和が、経済活動再開への期待となったことや、各国政府による追加経済対策、特に米国の大規模な追加経済対策を受けて、米国経済が大きな回復を見せたことや、各国中央銀行の引き続いての緩和的な金融政策が支援材料となり世界の株式市場は上昇しました。

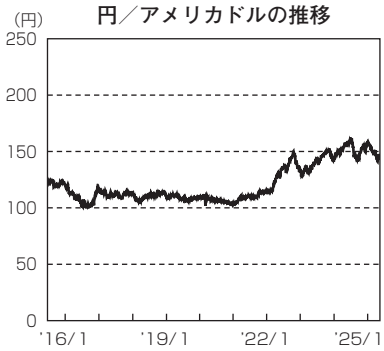
2022年に入ると、米国においてインフレ懸念や長期金利上昇への不安が強まったことや、ロシアによるウクライナ侵攻開始などから、投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に株価は下落に転じました。

2022年の終盤にかけては、米国の利上げペースの鈍化観測が強まったことから世界の株式市場は上昇に転じました。2023年に入ってもインフレのピークアウト観測などにより株式市場は上昇し、またその後は生成AIの活用の広がりからAI関連の大手ハイテク企業などへの業績期待が高まったことなどから、株式市場は引き続き上昇しました。

期間末にかけては、米国政府による貿易相手国への相互関税の発表を受けて、米中貿易摩擦激化への警戒感や世界経済の悪化懸念が市場で高まったことから、世界の株式市場は一時大きく下落したものの、トランプ米国政権が関税政策に対する姿勢を軟化させるとの期待感などから、株価は徐々に持ち直しました。

(為替市況)

信託期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2015年6月23日～2025年5月20日)

(当ファンド)

当ファンドは、「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2015年6月23日の設定以来、約9年10ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2025年5月20日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申しあげますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

(世界株式アクティブマザーファンド)

世界に広がる投資テーマを絞り込んだうえで、企業調査・分析により、3～5年で目覚ましい投資成果につながると見込まれる銘柄の発掘に努めました。魅力的な投資機会を追求するため国や地域は限定せず、個別企業の事業や競争環境などを分析・評価しました。

市場環境やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を慎重に検討し、ポートフォリオを構築しました。また主に銘柄選択の結果として、各セクターにおける積極姿勢／消極姿勢が生じました。期中においては、引き続き個別企業の事業や競争環境などを継続的に分析・評価し、活発な銘柄入替を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年6月23日～2025年5月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2015年6月23日～2025年5月20日)

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、分配を見送りいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

お知らせ

約款変更について

2024年5月21日から2025年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付にて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第60条）

<運用報告書の電子交付に関するご案内>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正（施行：2025年4月）が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供に取り組んでまいります。

その他の変更について

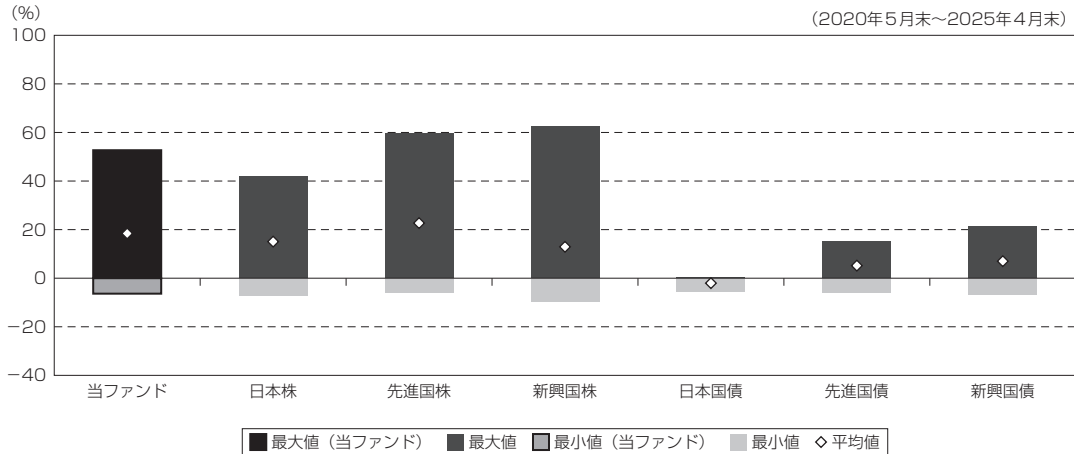
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年6月23日から2025年5月20日までです。	
運用方針	主として、「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド	「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界株式アクティブマザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性等を勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.7	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 6.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	18.4	15.1	22.7	12.9	△ 2.0	5.2	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J.P.X総研又は株式会社J.P.X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年5月20日現在)

2025年5月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

※組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還 運用報告書（全体版）に記載しております。

純資産等

項 目	第10期末（償還日）
	2025年5月20日
純 資 産 総 額	1,086,900,317円
受 益 権 総 口 数	511,717,570口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額	21,240円24銭

(注) 期中における追加設定元本額は304,496円、同解約元本額は105,132,680円です。